

横浜市立神奈川小学校 令和2年度 豊かな心の育成推進プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

【神奈川小学校 学校教育目標】

よくかんがえる なかよく がんばる わたしたち かなっ子
 (知) (徳) (体) (公) (開)

【教育課程全体で育成を目指す資質・能力】

自己決定力・かかわり合う力
 健やかな心とからだ

(2) 中期取組目標

★★【か】よく考え ★★【な】なかよく 【が】がんばる ★【わ】わたしたちかなっ子

授業改善を核とし、子どもの自己決定を保障する取組を継続的に行うことで、自らすすんで問題を見つけ、よく考えて行動する子どもを育てます。

様々な場面で子どものよさを価値づけることを通して目標モデルを確立し、また、授業や活動では子どもがかかわり合う場を保障し、他者と豊かにかかわり合う子どもを育てます。

幼・保・小・中学校、家庭、地域と連携し、それぞれのニーズに応える学校づくりを推進します。

(3) 「豊かな心の育成」に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		① 学校教育目標の「な」及び関連する中心資質・能力「かかわり合う力」の育成を推進するために、学校教育目標を各教室に掲示して共有、児童とともに付記しながら足跡を残す。 ② 道徳科の授業改善及びペア学年活動の充実、生活科・総合的な学習の時間を活用して他者との関わりを充実させる。
担当	運営A 人権・児童指導	

2 児童の実態

学校教育目標は教室に掲示してあったが、子どもたちがそれを意識する活動することは少なかった。昨年度からのペア学年活動では、休み時間に他学年と一緒に遊ぶ姿や学習や生活の中で他学年を意識した発言も見られるようになってきた。生活科や総合的な学習の時間では、地域や人とかかわる活動を多く取り入れることで、伝え合いをしたり対話的に学び合ったりする姿が多くみられた。半面、自分に自信がもてず自己有用感の低い児童がいたり、友達とコミュニケーションがうまくとれず、トラブルになってしまったりする児童も少なくないのが実態である。

3 「豊かな心の育成」に関する指導

○「かかわり合う力」の資質・能力を育成する。

- ・学校教育目標を各教室に掲示し共有し、自分たちの活動や行動を振り返り、書き足していくことでかかわり合う力が身に付いてきたことを実感できるようにする。
- ・行事や総合的な学習の時間、各教科等と、各学級の道徳の時間との関連を図り、自分事として学習するとともに、コミュニケーションとりながら多角的な視点を学んでいけるようにする。
- ・「できた・できない」ではなく、「伸びたか・そうでないか」を軸として、指導・支援していくことで、自己有用感を高めていけるようにする。

○他者とのかかわりを充実する。

- ・ペア学年活動を年間を通して実施する。相手意識をもった上でお互いを尊重し、協力し合う心を育てるとともに、達成感や関わり合うことの喜びを味わえるように支援する。
- ・授業や行事の中で「ひと」「もの」「こと」と多く関わることで、実感を伴った学び、これからの実生活に生かせる学びをし、豊かな心を育てる。
- ・地域の教育力を活用し、様々な人と関わりながら学びを深めていけるようにする。